

2022.March

# Amakuru?

Gatanu

05

JICA Hokkaido - Rwanda News published by Takuma Fujiwara

#JICA海外協力隊 #2021-1st Batch #Rwanda #Volunteer



## アフリカは時間の流れがゆっくり!?ルワンダ人の時間感覚!

皆さん、明けましておめでとうございます。2022年になりましたね!…で、すみません。だいぶ遅いのは分かっています…!ルワンダで生活を始めて早半年、私もいつの間にかアフリカの時間感覚に染まってきてしまったのかもしれない。そこで、今回は私がルワンダに来て驚いた、「時間」にまつわる話を紹介していきます。

アフリカに住む人々は、全体的に時間にルーズな人が多く、「アフリカタイム」なんて言葉もあるくらい、みんながのんびりしています。私の周りのルワンダ人も、例外ではありません。待ち合わせをしようものなら、当然のように遅れて来ます。それどころか、学校で開かれた公式の保護者集会ですら、開始予定時刻から2時間半経過してからようやく始まっていました(先生方も保護者も時間通りに集まらない)。

日本の社会では、時間を守ることは最低限のマナーとされます。なので、それを当たり前のようにと、学校でもよく「時計を見て行動しなさい」と言われると思います。でも、私の配属先の学校には、時計が一つもありません!つまり、子どもたちは現在何時なのか、把握する術がないのです。そんな環境で勉強しているって、想像できますか!?「あ、あと〇分で授業終わりだー」とか「5分前着席しなきゃ」とか、そんな考えをもつことすらできないのです。

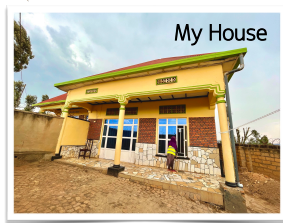
ちなみに、先生方は携帯電話を持っているので、時間を確認することができます。しかし、それでも時間割通りに授業が進んでいるのを見たことがありません。日本人の感覚としては「え、それで良いの?」と思ってしまいますが、彼らは誰もそこに疑問を感じていないようです。



↑ 休み時間終了の合図



## JICA海外協力隊って、どんな家に住んでるの?我が家を公開!



私は現在、現地の方の家にホームステイをしているわけではなく、家を借りて一人暮らしをしています。そのため、掃除・洗濯・料理など、全ての家事を自分で行っています。では、そもそも「JICA海外協力隊」という立場の人は、どんな家に住み、どんな暮らしをしているのか…コレ、きっと結構気になりますよね!?

そこで今回、現在私が住んでいる家を紹介する「ルームツアー」の動画を作成しました。皆さんが住んでいる日本の家とは違う部分もあると思いますが、私は何不自由なく生活できています。また、これ以外にも何本かYouTubeに動画を上げてみました。今後も余裕がある時に、少しずつ上げていくので、良かったら観てみてください!

【ルームツアー】ルワンダで活動するJICA海外協力隊のお家紹介!

